

## 上杉鷹山と米沢織

東京農工大学農学部蚕学研究室

准教授 横山 岳

成せば成る 成さねば成らぬ  
何事も 成らぬは人の 成さぬ成けり

江戸時代後期の米沢前藩主の上杉鷹山<sup>うえすぎやうざん</sup>が次の藩主とその近侍に示した壁書<sup>へきしょ</sup>（天明5年1785）の中の有名な和歌である。読み仮名は同じだが、「為せば成る」「なせば成る」「成せばなる」等々のヴァージョンがある。上記に示した「成せば成る」は国宝に指定されている上杉家文書の上杉鷹山書状のものである（上杉鷹山の直筆）。米沢城址内上杉神社（山形県米沢市丸の内1の4）で壁書のコピーを色紙にしたものをお受けできる（図1）。同僚の歴史学の高橋美貴教授に読んでいただいたところ「なせはなる なさねはならぬ 何事も なさぬは人の なさぬ成りけり」、大変分かり易い平仮名で書かれているとのこと。多分、幼い10歳の世子に示したためだろう。原本は平仮名だが上杉鷹山や家臣たちが写しを取っている時に漢字で書いたためにいろいろなヴァージョンが出来てしまったようだ。

この和歌は素晴らしいと思うが、仕事がうまくいっていない時に上司にこれを言われると結構辛いだろう。上司に「何ででき

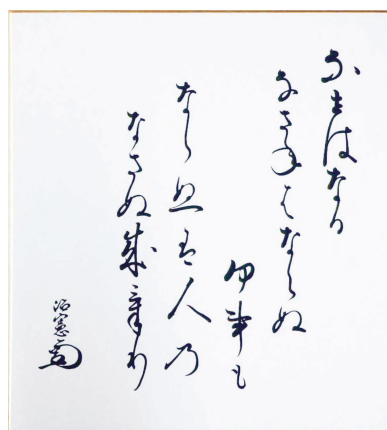


図1 壁書の色紙

ないの？ やらなきゃ。出来ないのは出来るまでやらないからだろ？」と言われたら、返す言葉はきっと見つからない。これを言われてやる気が起きるだろうか、再び取り組めるだろうか。上杉鷹山は言うだけでなく、自らこれを実践した人である。家臣が上杉鷹山についてきたというのは上杉鷹山に強いリーダーシップがあったのだろう。米沢城址に上杉鷹山の銅像と「なせば成る」の碑が立っている（図2）。道の向いにはNHKの大河ドラマ「天地人」の上杉景勝、直江兼続主従の銅像もある。

現在、上杉鷹山の詳細を知っている人は多くないだろう。戦前の修身の教科書では二宮尊徳と同じく、上杉鷹山を扱っていたので多くの人を知っていたが、戦後の教育では高校の日本史でも教えられてお



図2 上杉鷹山公像（米沢城址内）

らず、戦後は知名度が下がっている。アメリカ第35代大統領J.F. ケネディが、尊敬する日本人の政治家として上杉鷹山の名を挙げている。J.F. ケネディが来日時のこととされることがあるが、J.F. ケネディ大統領は来日していない。大統領就任した頃（1961年）の日本人記者のインタビューらしい。J.F. ケネディに「上杉鷹山」と言われて「誰？」という感じだったらしい。上杉鷹山は内村鑑三が「代表的日本人」（1908）の中で取り上げている一人である。この本は英文で書かれており（原題: Representative Men of Japan / Japan and the Japanese）、海外に向けて日本人の代表として上杉鷹山その他、西郷隆盛、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮の生涯が紹介されている。残念ながら「成せば成る」の和歌については取り上げられていない。J.F. ケネディは多分、この本を読んで統治者としての上杉鷹山の姿勢に感銘を受けたのであろう。J.F. ケネディの長女キャロライン・ケネディ前駐日米大使が米沢を訪れた際（2014

年、9/27）、「父は『一人でも世の中を変えることができる』とよく話をしていた。しかし鷹山公ほど端的に言い表した人はいない。『Nasebanaru』。」とスピーチしている。J.F. ケネディ大統領は本当に上杉鷹山を尊敬していたのだろう。

## 米沢藩の殖産興業

米沢藩は陸奥国会津・出羽国庄内など120万石の大藩であったが、関ヶ原の合戦時に西軍に属したため置賜地方米沢30万石に削減され、さらにその後の藩主が急死した際に15万石に削減されている。領地が大幅に削減されているにも拘らず、120万石の時の藩士を召し抱えたままであった。会社の収入が1/8になってもリストラせずに社員がそのままという状態なので、当然、藩財政は悪化、藩士の生活は窮乏の一途を辿っていた。米沢藩の収支は2万両もの赤字で、借金まみれで商人に借りたお金を返す充ても無くなっていた。返せないでこれ以上誰からもお金を貸してもらえず、破産寸前に陥っていた（11万両の赤字だったとか）。また藩政も家老職が暗殺されるなど藩の運営が難しく、幕府に領地を返上することを考えるような状態であった。そんな中、<sup>うえすぎはるのり</sup>上杉治憲は養子として第9代藩主となる（鷹山は隠居後の名前である）。藩に誇り高い伝統はあるが、頑固で保守的、金はない、重役がイガミ合う中、養子としてやってきた。私だったら、もうどうにもどうしようも無いだろう。手の打ちようが無いとだいたい「儉約令」を出す。無駄を無くすのは良いだろうが、無駄を無

くすのも限度がある。また、儉約、緊縮財政を行っていくと財政は硬直化し、皆うんざりしてきて、ますます手の打ちようのない状態になるのが普通である。上杉鷹山もまず儉約令を出した。そして儉約するだけでなく、藩内の産業を起すために数年がかりの16年計画を立て、それに必要な金額を算出した。商人達に単に借金をするのではなく、殖産の計画を示して借金を申し込み、借りることに成功。その金を元手に産業を興した。

織物、和紙、蠟燭ろうそくを生産するために、桑、楮こうぞ、漆うるしを植えることを計画し、それぞれ百万本植える事とした。百万本である。本気で産業を起す気が伝わってくる。これを計画していた竹俣当綱たけまたまさつなは樹養篇（安永4年1775）で桑百万本植えれば十年後には年間7,407両の利益が出ると計算している。このように単に緊縮財政ではなく、借金をしてでも新たな産業を興した。当然、新しい産業が計画通り進むばかりではないので、様々な困難が生じる。天明の飢饉も起こっている。その時に「成せば成る（計画通りやればできるはずだ）。」「成さねば成らぬ（私たちは藩を立て直さねばならな

い。」「成らぬは人の成さぬ成けり（出来る筈なのに出来ないのは我々の怠慢である）。」ということだろう。上杉鷹山は一生をかけて藩の財政を立て直すことに成功する。財政再建16年計画の倍の33年掛かったが、11万両もあった借金を返済して5千両の貯蓄ができるようになった。

### 米沢織の起源

殖産興業の一つに養蚕業と織物業がある。養蚕業を興すために桑苗作りから計画している。なんと百万本もの桑苗を作ろうとした。江戸時代の桑は現在の仕立て方と異なり、桑木に育てる必要があった。つまり苗を植えてから木にならないと本格的に収穫できない。現在の桑苗は「袋接ぎ」という接ぎ木の方法で大量生産が可能であるが、当時は桑の枝を土に伏せて、伏せたところから根を出させる方法、または桑の枝を泥団子で覆い、そこから根を出させる方法で桑苗を作成していたらしい。多分、枝を土に伏せる方法がとられたのであろうが、元となる桑樹、そしてその周りに枝を伏せる場所を確保する必要がある。それが百万本分となると気の遠くなるような苗作



図3 長井市の桑古木



図4 白鷹町の桑古木



りである。苗作りに数年、苗を植えてから数年、桑葉の収穫には十年位かかる計画であったろう。そして、収穫した繭から糸を取り、織物を作る。十年先には織物業を起すように織物が盛んな地域（越後）から技術導入をした。麻、絹の生産とそれを材料とした麻織物、絹織物の産業が米沢に根付くことになる。これが現在の米沢織の起源とされている。

漆の木については計画より時間がかかったが百万本以上苗木が作られた記録が残っている。残念ながら桑苗について実際に作成できた本数は分からないが、同じように百万本近く作ったのであろう。そのうちの2本が現存している。2本とも品種は“赤木”、上杉鷹山時代に植えられたので樹齢約240年の古木である。一本は長井市五十川にあり、市の天然記念物に指定されている。高さ約12mの桑の大木である（図3）。もう一本は白鷹町山口にあり、これは個人の所有となっている。春切りをしているため、樹高は約10mと若干低い。剪定だけでなく施肥も行われているため大きな葉をつけている（図4）。このお宅では平成初期まで養蚕をしており、この桑古木も使っていたそうである。図4の左奥の建物は以前使っていた蚕室である。

また、養蚕が盛んだったためであろう、1959年に合併で無くなってしまったが、このあたりはかつて蚕桑村であった。近くに駅名に「蚕」の字が入った蚕桑駅（フラワー長井線）がある（図5）。米沢駅から電車で小一時間の小さな無人駅である。駅名に「蚕」の字が付いているのはここと京



図5 フラワー長井線蚕桑駅

都の蚕ノ社駅<sup>かいこのやしろ</sup>だけである。

残念ながら置賜地方に現在ほとんど養蚕農家が残っていないが、米沢織はいまだに盛んである。米沢城址から徒歩数分のところに米沢織物歴史資料館（米沢市門東町1-1-87）があり、米沢織を見学できる。また、すぐ近くに私営の原始布・古代織参考館（米沢市門東町1-1-16（要電話予約0238-22-8141））がある。糸商さんが集めたコレクションを見ることができ、昔の人が糸、布、服を如何に大切に、そして貴重なものとして扱っていたか実感できる。

「成せば成る」、皆さん今年も頑張りましょう。

【参考：文庫本で読むことができる上杉鷹山】  
内村鑑三：「代表的日本人」岩波文庫  
（翻訳：鈴木 範久、日本語で読む事ができる）  
童門冬二：「小説 上杉鷹山」集英社文庫、人物文庫  
藤沢周平：「漆の実のみのる国」文春文庫  
（藤沢周平の遺作である）

#### ■問い合わせ先：

東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室  
〒183-8509  
東京都府中市幸町3-5-8  
TEL：042-367-5681  
E-mail：ty.kaiko@cc.tuat.ac.jp  
HP：http://www.tuat.ac.jp/~kaiko